

著者から読者へ

ハンゲル仏典の粹『釈譜詳節』

ソッポサンジョル

訳者 河瀬 幸夫

東アジアの仏教を学ぶ場病死すると、追善のためにハンゲルが創制された直後のこと。ハンゲルの第二王子の首陽大君に仏経を作ることを命じます。正式名称は訓民正音であり、世宗は民衆に正しい知識を広めることを目的にしてハンゲルを創制し、頒布に整え、それを韓国語に翻訳し、『釈譜詳節』二四巻を刊行します。それを讀んだ世宗は、『釈譜詳節』のそれぞ

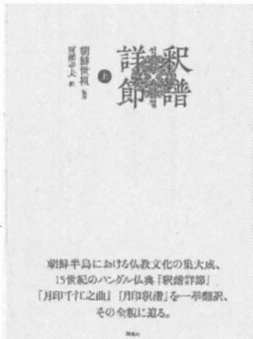
の疑問に答えを与えてくれるような内容を持つています。朝鮮時代は崇儒抑仏の時代と言われています。世宗の死後、首陽大君は曲折を経て即位することになります。その時代に追善のために王子時代に旨の王、世宗は熱心な宗は熱心な江之曲を合編し、『月印釈譜』二五巻を刊行します。以上はすべて一四四三年

にハンゲルが創制された直後のこと。ハンゲルの正式名称は訓民正音であり、世宗は民衆に正しい知識を広めることを目的にしてハンゲルを創制し、頒布に整え、それを韓国語に翻訳し、『釈譜詳節』二四巻を刊行します。それを讀んだ世宗は、『釈譜詳節』のそれぞ

朝鮮世祖纂述 河瀬幸夫訳

釈譜詳節(上)

その疑問に答えを与えてくれるような内容を持つています。朝鮮時代は崇儒抑仏の時代と言われています。世宗の死後、首陽大君は曲折を経て即位することになります。その時代に追善のために王子時代に旨の王、世宗は熱心な宗は熱心な江之曲を合編し、『月印釈譜』二五巻を刊行します。以上はすべて一四四三年



A5判・472頁・6825円
春風社
978-4-86110-209-7

週刊

ブックレビュー

WEEKLY BOOK REVIEW

NHK 衛星
第2テレビ

◎主な内容(901号=11月20日8時30分放送)

【おすすめの一冊】

①書評者=縄田一男…松井今朝子著「西南の嵐 銀座開化おもかげ草紙」(1470円・新潮社) / P・D・ジェイムズ著「秘密」(青木久恵訳、1890円・早川書房) / 浦沢直樹著「BILLY B A T」(ストーリー共同制作長崎尚志、630円・講談社)

②書評者=吉田伸子…北方謙三著「抱影」(1680円・講談社) / 木内一裕著「キッド」(1575円・講談社) / 伊坂幸太郎著「リアビートル」(1680円・角川書店)

③書評者=佐藤忠男…角谷敏夫著「刑務所の中の中学校」(1470円・しなのき書房) / 鶴見俊輔著「思い出袋」(798円・岩波書店) / リービ英雄著「我的日本語 The World in Japanese」(1575円・筑摩書房)

【特集コーナー】

ジェフリー・ディーヴァー氏を迎え、児玉清さんインタビューに、最新作「ロードサイド・クロス」(池田真紀子訳、2500円・文藝春秋)について伺います。

残念なこと、これらの三書は、どれも全巻の存在が明らかになっていません。それで、この度の『釈譜詳節』の日本語訳では、巻も発刊の予定。

広範な仏教学の知識に裏打ちされています。世宗や世祖の周囲には、常に学問のある高僧たちがいました。その高僧たちは新羅や高麗の学僧たちが蓄積した高いレベルの仏教学を引き継いでいました。ハンゲルが発明されたことで、難しい仏教典籍を民衆に広めることが可能となり、高僧たちが王室のハンゲル普及の事業に積極的に参加したことが、これら三書の誕生の背景にあります。

この三書で現在に残るものすべてを訳して、互いの欠落を補いたいと考えました。そうすることで、一五世紀の当時、仏教が朝鮮半島においてどのように理解されていたかということに接近できるのではないかと考えました。

専門家でもない訳者が、中世韓国語で書かれた深遠な仏教世界をどこまで正しく伝えられるかおぼつかないところですが、隣国の代表的な古典である三書を同時に紹介できることは、この上ない喜びであります。(かわせ・ゆきお氏|高麗大蔵経研究所駐日研究員)